

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)広島駅北口計画

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.4
Q1 室内環境							0.40		-	3.2
1 音環境						3.0	0.15	3.2	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.47	3.0	0.48	
1.2 遮音						3.0	0.47	3.6	0.48	
1 開口部遮音性能		防音仕様T-2を使用する				3.0	0.99	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.01	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.05	3.0	0.04	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.3	1.00	3.1
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.6	0.50	
1 室温		ZEH Oriented				3.0	0.56	3.0	0.62	
2 外皮性能						3.0	0.34	4.7	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.10		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.3	0.25	3.0	1.00	3.1
3.1 昼光利用						4.2	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		2.5%以上				5.0	0.60	3.0	0.52	
2 方位別開口							-	3.0	0.24	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.24	
3.2 グレア対策						3.0	0.28	3.0	0.30	
1 グレア制御						3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.26	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.5	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策						4.0	0.57	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		仕上材F★★★★を使用する				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.37	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.49	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	0.03	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.49	3.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	0.05		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.17		-	
2 喫煙の制御						3.0	0.83		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1
1 機能性						2.8	0.40	2.8	1.00	2.8
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	0.01	3.0	0.09	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.01	3.0	0.91	
3 バリアフリー計画						3.0	0.98		-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		事務室天井高3m、ホテル客室天井高2.6m、住戸天井高2.62m				5.0	0.01	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	0.01		-	
3 内装計画						1.0	0.98	1.0	0.50	
1.3 維持管理						4.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		タイルカーペット、ウレタン樹脂塗装、御影石張り、大判タイルを使用する				5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		清掃員控室、管理倉庫、SK、ゴミ置場スペースを確保する				4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.4	0.30		-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.4	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		免震構造				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						5.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.9	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3				5.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年				4.3	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		硬質ポリ塩化ビニル管を使用する				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.3	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.03	3.7	0.50	
1	階高のゆとり	事務所階高5m、駐車場階高5m、住戸階高3.28m	5.0	0.25	4.3	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.75	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.03	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.95		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観法に基づく届出等の取扱要綱に基づいて計画する	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		歩行者ネットワーク整備、かつ、歩行者空間の防犯性を配慮する	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		ZEH Oriented	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.68	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	0.26	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.74	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		節水型便器と水栓を使用する	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水貯留槽を設ける	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		下地に軽量鉄骨を使用する	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮		ZEH Oriented	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	条例の基準は満足	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ディスプレイを設置する	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	